



（これは便利）  
新「市役所前（福井鉄道）」開業

12月11日

●撮影/20171213 林照

### ☆☆活動報告☆☆

- 11月9日 ROBA11月例会・理事会
- 17日 地域バス交通活性化セミナー
- 27日 すまいるバス検討会議
- 28日 田原町駅活性化協議会
- 12月8日～9日  
全国バスマップサミット（甲府市）
- 12月14日 ROBA12月例会・理事会

### ☆☆今後の予定☆☆

- 1月11日（木） ROBA1月例会・理事会
- 1月12日（金）～13日（土）  
LRT都市サミット（松山市）
- 1月13日（土）～14日（日）  
全国路面電車サミット（松山市）

## Wacky's 一押しCD その16

## クルセーダース 「南から来た十字軍」

自分がちょっとばかりギターを弾くこともあり、どうしてもギタリストの紹介が多くなります。今回も、スーパーギタリストをフィーチャーしたアルバムの紹介です。ギタリスト名は、ラリー・カールトンです。ラリーは、いわゆるスタジオ・ミュージシャンとして有名アーティストの裏方で素晴らしい演奏をしてきました。例えば、インテリ御用達のスター、スティーリー・ダンのアルバムには欠かせないメンバーでした。

さて、クルセーダースは、黒人主体のジャズバンドですが、古くからファンクやロックを取り入れてきました。このアルバムでは、ラリーのソフィストケートされた滑らかなギターを仲間に引き入れ、自前のファンク色と絶妙のブレンドを聞かせてくれます。ソロアーティストとしても有名なジョー・サンプルのキーボード、独自のノリのウィルトン・フェルダーのベースとスティックス・フーパーのドラム、それに、フュージョンバンドに珍しい、トロンボーンも加わったユニークな音づくりをぜひ味わってください。そうそう、お薦めの曲は、一発目の曲「スパイラル」です。曲名の通り、ラリーの渦巻き舞い上がるギター・ソロが堪能できますよ。

10月14日（土）と15日（日）の2日間にわたって富山市の市内環状線が通る大手モールのトランジットモールの実験が行われました。実験に合わせて「大手モルフェス」が開催され、多くの人でまちなかがにぎわいました。富山城址公園の南側に位置し、国際会議場前電停～大手モールの電停間の大手町交差と越前町交差点の間を自動車通行止めの歩行者天国とし、路面電車だけが通ることができるようにしています。道路沿いには露店やステージ、ベンチを配置し、来街者が安心して飲食や買物、催し物を楽しむことができます [図1]。通行止めの時間は14日が13:00～22:00、15日が9:00～17:00までで、イベントは準備やかたづけの時間を除き、14日が15:00～21:00、15日は10:30～16:00で開催されました。筆者は15日の午後のみ見学しましたので、その時の様子を報告します。

日本ではトランジットモール実験を行う際、必ず安全上の問題が問われるので、電車線との間はバーで仕切られており、ところどころ横断できる箇所に係員がいて、電車が来るときは歩行者の横断を止める措置をしていました [写真1]。海外のトランジットモールではそんな仕切りなどはなく、自由に往来できます。なぜなら、電車は線路からはみ出ることはないので安全だからです。ただし、線路内に立ち入った人はその人の責任で安全を確保する必要がありますと考えられています。日本では線路内に立ち入った人が電車と接触すると、鉄道会社側の安全対策が問われるので、トランジットモールを実施する際に邪魔な柵が必要になるという矛盾を抱えることになるのです。

そういった問題を抱えつつも、にぎわいを創出するという点では効果があるようです。大手モールの電停付近では路上パフォーマンスが行われ、ジャグリングを披露していました。シネマコンプレックスが入った再開発ユウタウン総曲輪の広場ではプロバスケットボールの富山クラウジーズのライブ中継と、3on3（ミニバスケットボール）の大会が開催され、多くの人が見物していました [写真2]。市民プラザ前のステージではバンドのライブ [写真3]、国際会議場前のステージではクラシック音楽の発表会が行われ、人垣ができていました。その他にも路上で絵を描きながらのアートパフォーマンス [写真4] や、公開プレゼンなどが行われ、大手モール全体が文化祭の会場のような感じでした。



図1：大手モールのトランジットモール配置図

オレンジ色は大手モルフェスのイベント、図の左側が北



写真1：トランジットモールを走行するセントラムの大手フェス PR ラッピング車、線路と歩行エリアの間は柵で仕切られ、横断箇所が設けられている

本日のセントラムのホワイトカラーの電車は大手モールフェスをPRするラッピングが施され、およそ10分に1本電車がやってくると、来場者もおもわずカメラを向けて記念撮影していました。当日は大手モール以外にも、北側の城址公園では「TOYAMA 米奏動」と銘打って、演奏会とコラボしたお米とお酒を駆使したグルメフェスタが開催され、東側のグランドプラザではワインフェスタが開催されており、相乗効果でまちなかは大賑わいでした。

実施にあたってはイベントの企画、露店の出展者の調整、安全対策など準備が大変かと思いますが、1回限りで終わるのではなく、月に1回程度トランジットモールとイベントが行われると、まちなかの活性化に貢献するのではないのでしょうか。もちろんこれが毎週土日と祝日へと拡大し、常にトランジットモールの状態になることを願っています。

海外では10時頃から22時頃まで、まちなかに車を入れずに歩行者のにぎわいを創出するのが常識となっています。9月の末にドイツのカールスルーエのトランジットモール、オーストリアのウィーンの広大な歩行者専用エリア、スロバキアの首都ブラスティアバのトランジットモールを見てきたばかりですが、そのまちなかがにぎわっている様子を見に行くたびに、日本ではなぜ非常に危ない車をまちなかに入れたがるのか不思議ではないです。どれだけの人が車にはねられて亡くなれば懲りるのだろうか、警察では交通事故と言っているようですが、私から言わせれば交通殺人であり、危険運転は交通殺人未遂事件だと言わざるをえません。そんな車が買物や散策でまちなかを歩いている人のすぐそばを通るようにしているのをおかしいと思わないのでしょうか。トランジットモール実験で柵が必要なら、電車と同じように柵を作っていない道路は車を通してはいけないようにしなくて良いのでしょうか。冒頭にも書きましたが線路の上をはみ出ない電車には柵が必要で、ハンドル操作を誤ったらすぐ横にそれる車には柵が必要ないのですからおかしい話です。福井でも年に数回駅前通りがトランジットモールになります。富山や福井の成功が全国に広まることを願っています。[松原 光也]



写真2：大手モールフェスでは再開発ビルのユウタウ  
総曲輪の広場で3on3の大会が開催された



写真3：市民プラザ前ステージでのライブ



写真4：路上で行われているアートパフォーマンス、  
道路には露店が並び、ベンチで食事や休憩ができる

## 富山のトランジットモール 報告

飲んべえグルメ会員？富山の善光です。10月14、15日の両日、富山市でトランジットモールが行われましたので、報告をしたいと思います。（私が行った日は14日土曜日、天候・曇）

場所は、富山城の南側、市内電車の環状線（富山都心線）の通る大手通モールです。イベント名は“大手モールフェス”。通りを路面電車と人だけが通行できるようにし、線路の両側にはたくさんのお店が出店し、大勢の人で賑わいました。テーブル、ベンチも多く置かれ、みなさん思い思いのお店で調達したお酒や料理をゆっくりと楽しんでいました。ストリート・バスケットあり、大道芸あり、ピアノ演奏あり。その中を電車がスーッと通り過ぎていく。これぞ、これからの中心市街地の理想の風景だと思います。この通りはもともとトランジットモールを実施する事を前提に設計されたと言われ、現在単線の電車も、いつでも複線にできるようにもなっています。この楽しい風景は、投稿写真で感じ取っていただければ幸いです。

さて、このトランジットモール、課題もありますね。関係の方々とお話もしました。今回も社会実験の一つですが、線路両側は看板とロープで厳重に区分けし、切れ目（横歩行者横断場所）には警備員の複数配置など、安全対策は大掛かりに実施されました。警察などからは、かなり厳しく安全対策を求められる様ですが、どこまで厳しくするかは、実施回数（歩行者側の慣れ）、通行量（人出具合）、通過車両（電車、バスの種類・速度）にもよる様で、やはり最終目標は柵（ロープなど）なしでの実施だそうです。また今回、出店のお店（露店）が線路の両側で、線路に背を向けて設置されたため、電車の乗客から見るとお店の裏側しか見えず、いわゆる“残念な車窓風景”になってしまった、と言う問題点も指摘されました。

いずれにせよ、路面電車が多くの人を運んで来てくれ、お買い物、お酒、食事を楽しむこの企画、大成功だと感じました。また同じ日、北隣の富山城址公園でも、イベント“米奏動”も行われていました。お米（お酒を飲んで食事）を食べ、演奏を楽しみ、電車で移動しましょう、と言うものです。こちらも大盛況。鉄軌道、バスを活かした富山のイベントはこれからも賑やかに開催されるでしょう。



米奏動の会場と案内板



アユとビールと飲食チケット



このような感じになります



こんな道路標識が登場！



ピアノと電車の共演！



私よりちょっと足の長い人がいました



パンやさんのうしろを電車がいきます・・・

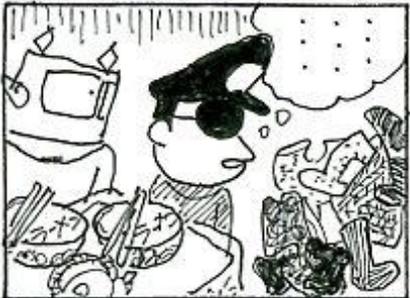


オーテモールフェスの案内



野菜タコライス、花野菜サラダと白ワイン！

怪速! by.うし哲  
路面ライダー



作/漆崙 耕次



12月2日(土)「たわらまちミュージズ」において、「おとえきプロジェクト(\*)」のイベントとして「復興支援とフォークソングを考える」が行いました。

第1部は陸前高田復興支援に6年間携わってきた後藤勇一氏(元福井市議)のお話し。第2部は2014年に亡くなられた笠木透さん(フォークシンガー)を追悼するライブ。不肖私が17曲を歌いました。

ゲストとして内田さんにも出演していただき、迷曲いや名曲の「ふるさと電車に乗って」をいっしょに熱唱しました。

なお、この歌のデモテープは、えちぜん鉄道を舞台にした映画「ローカル線ガールズ」(来年公開)のプロデューサー河合広栄氏に送ってあります。映画で使われるかも?!

\*:「おとえきプロジェクト」とは、地域住民や鉄道事業者でつくる田原町駅活性化協議会が田原町駅周辺を音楽で盛り上げるプロジェクトです

編集後記・・・編集委員より一言

内田(発行責任者)

「えち鉄、福鉄が元気がいいので、つられて路線バス、コミバス関係も元気?あるいは元気を取り戻さなければならぬ、感が見えます。総合ターミナル化、相互乗り入れ、たわらまちミュージズ、市役所前電停、完成と交通まちづくりが元気です。」

林(変集長)

「森田コミバスのルート(案)がもう少しで完成です」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/